

事業成果報告書

[取組 I] 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 栃木県教育委員会
2. 取組の名称 : 栃木県小中一貫教育推進事業

3. 事業の実績

(1) 事業のねらい

県教育委員会の助言の下で、小中一貫教育を推進しようとする県内の協力市教育委員会が、小中一貫教育の質の向上や地域の実態に応じた多様な取組について調査研究を行う。県教育委員会としては、協力市教育委員会と連携を図り、推進体制を整備し、有識者の助言等を得ながら協力市教育委員会の支援を行う。

また、これらの研究成果を市町教育委員会や各学校に周知し、市町における小・中学校間の円滑な接続や相互の連携を促進するとともに、安定的・効果的な小中一貫教育の実施につなげ、公教育の質の向上を目指す。

(2) 事業の実施状況

各協力市は、それぞれの事業計画に従いモデル校や域内全域で調査研究を進めた。県は、庁内検討委員会及び小中一貫教育推進協議会を開催し、各協力市の取組について情報の共有を図り、協議や有識者からの指導助言及び講話により取組の工夫改善に努めるよう支援した。さらに各協力市の研修会等に訪問することで、進捗状況を把握し、それぞれの協力市の取組をリーフレット等の啓発資料として作成し、県内の市町教育委員会や小中学校に周知を図った。

また、本事業の推進のために先進地視察を行い、情報収集に努めた。

(3) 事業の成果

協力市においては、小中一貫教育推進計画等が策定され、モデル地域による先行実施や域内全体での実施がなされた。各市教委のリーダーシップの下、モデル校区等が主体的に小中一貫教育に取り組むことができた。

県は、推進協議会の開催や各協力市のモデル校等の研修会等への参加により進捗状況を把握し、有識者等の助言を受けつつ各協力市を支援することができた。

「栃木県小中一貫教育リーフレット」を作成し、県内の市町教育委員会及び各小中学校へ配布することにより周知・啓発を図ることができた。

(4) 今後の取組予定

小中一貫教育を推進しようとする協力市教育委員会が、小中一貫教育の質の向上や地域の実態に応じた多様な取組を推進していく。県としては、引き続き検討委員会や推進協議会を設置し、有識者の助言等を得ながら支援を行っていく。また、協力市教育委員会や関係教育事務所と連携を図りつつ、本県におけるガイドライン等を策定する。

こうした成果については、リーフレット及びガイドライン等の作成・配布、効果的な教職員研修会及びフォーラム等の開催により、県内の小中学校に周知していく。

4. 取組 I の実績

(1) 取組のねらい

<p>(1) 庁内検討会議及び栃木県小中一貫教育推進協議会の開催 庁内検討委員会及び推進協議会の開催や各協力市の研修会等への参加により進捗状況を把握し、有識者等の助言を受けつつ各協力市を支援することができた。</p> <p>(2) 県内小中一貫（連携）教育への取組状況の把握 県内のほぼ全ての小中学校において、連携が図られていることが明らかになった。それぞれの連携の中で学校が感じている成果と課題を調査から明らかにすることができた。</p> <p>(3) 各協力市への研修会等への参加から 地域や児童生徒の実態に応じた研修会等が実践されていることが確認できた。授業研究会や実践発表等では、「目指す子供像」が共有され、9年間を見通した教育課程の編成・実施等もなされていた。各市教委のリーダーシップの下、各学校では主体的に研究に取り組んでいた。今後は、より一層教員の意識改革を進め、系統的・継続的な支援を研究していく必要がある。</p> <p>(4) 先進地区における事例の収集 小中一体型、隣接や分離型の先進的な取組をしている一貫教育校から多くの事例を収集することができた。次年度以降の学校訪問等での実際の指導助言に生かしていく。</p> <p>(5) 啓発資料の作成により、県内市町及び学校に対して本事業における各協力市の取組を周知することができた。</p>

(2) 取組 I の実施状況（平成28年度）

6月	◇第1回庁内検討委員会 ・小中一貫教育推進事業運営要項案の検討 ・県教育課程実施状況調査の調査項目の検討
7月	◇第2回庁内検討委員会 ◇県教育課程実施状況調査の実施 ・県内の小中連携についての取組状況の調査
8月	◇第3回庁内検討委員会
9月	◆第1回推進協議会の開催 ・事業の説明と今年度の取組についての協議 ・講演「小中一貫教育推進のポイントと課題」青森中央学院大学教授 高橋 興 氏
10月	○協力市研修等への参加：大田原市金田北中、那須烏山市推進協議会 ○全国サミット視察：東京都武蔵村山市 ◇第4回庁内検討委員会
11月	○先進校視察：茨城県つくば市春日学園 ○協力市研修等への参加：那須塩原市立黒磯中、大田原市立若草中
12月	◇第5回庁内検討委員会 ○協力市研修への参加：大田原市市野沢小、那須塩原市立厚崎中
1月	○協力市研修への参加：小山市教育フォーラム ◇第6回庁内検討会議
2月	○先進学校視察：京都府京都市大藪小他 ◆第2回推進協議会の開催
3月	◇第7回庁内検討委員会 □栃木県小中一貫教育推進事業リーフレット配布

(3) 取組の成果

(1) 県内小中一貫（連携）教育への取組状況の把握
県内のほぼ全ての小中学校において、連携が図られていることが明らかになった。それぞれの取組の成果と課題を調査から明らかにすることができた。

(2) 各協力市への研修会等への参加から
地域や児童生徒の実態に応じた研修会等が実践されていることが確認できた。授業研究会や実践発表等では、「目指す子供像」が共有され、9年間を見通した教育課程の編成・実施等もなされていた。各市教委のリーダーシップの下、各学校では主体的に研究に取り組んでいた。今後は、より一層教員の意識改革を進め、系統的・継続的な支援を研究していく必要がある。

(3) 先進地区における事例の収集
小中一体型、隣接や分離型の先進的な取組をしている一貫教育校から多くの事例を収集することができた。次年度以降の学校訪問等での実際の指導助言に生かしていく。

(4) 啓発資料の作成により、県内市町及び学校に対して本事業における各協力市の取組を周知することができた。

(4) 今後の取組予定

庁内検討委員会や小中一貫教育推進協議会の開催により、有識者の助言等を得ながら各協力市教育委員会の取組を支援していく。今年度は、中間発表として、モデル地域等の実践事例発表を通して更なる工夫・改善に努める。県として小中一貫教育ガイドラインを策定し、県内の小中学校の円滑な接続と、公教育の質の向上を目指す。

5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ-1	小山市教育委員会	
Ⅱ-2	那須烏山市教育委員会	
Ⅱ-3	大田原市教育委員会	
Ⅱ-4	那須塩原市教育委員会	

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ－１
------	-----

1. 市町村教育委員会等の名称 : 小山市教育委員会

住所	:	栃木県中央町1-1-1
代表者職・氏名	:	教育長 酒井 一行

2. 取組の名称 : 小山市小中一貫教育推進に向けて

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

本市の小中一貫教育については、平成19年度からはじまった「小中連携プロジェクト」以来、義務教育9年間を通して、児童生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすための育ちや学びをつなぐ指導の在り方について、中学校区ごとに工夫を重ねてきました。今後は、これまでの各中学校区における研究の中で、成果の見られた取組については、継続・一部改善し、学校や校区の実態に合わせ効果的・効率的な接続が推進されるようにするとともに、課題となっていることについては、学校や中学校区の声を反映させ、検討・改善しながら、教職員・児童生徒・保護者・地域住民が参画し、共に創る「共創の教育」を推進し、その教育活動の充実を図っていきたいと考えています。そして、学校・家庭・地域社会が協力し、児童生徒一人一人の個性や能力の伸長や豊かな人間性・社会性の育成につながる学校教育のより一層の充実が図られるよう努めてまいりたいと考えています。

具体的な取組として、平成29年度から市内11中学校区で小中一貫教育を全面实施する予定であり、平成28年度は、その基本となる「小山市小中一貫教育基本計画（以下、基本計画）」を策定するため、小中一貫教育推進基本計画検討委員会を設置し、計2回開催しました。基本計画の主な内容としては、「これまでの取組」、「小中一貫教育のねらいとグランドデザイン」、「基本方針（学年段階の区切りの考え方、指導計画、地域との協働、等）」について、本市のこれまでの主要な取組を整理し、平成29年度から平成33年度までの5年間の取組内容を明らかにした。

平成29年度の小中一貫教育全面展開実施に向けて、そのねらいやグランドデザイン、具体的な内容等を広く知っていただくために、基本計画の概要版としての位置付けで啓発リーフレットを作成し、市内児童生徒保護者、教職員、関係者に配布した。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

9月	○第1回栃木県小中一貫教育推進協議会への参加（12日）
10月	○先進地視察：第11回小中一貫教育全国サミットin武蔵村山への参加（21～22日）
11月	○先進地視察：学校施設づくりフォーラム2016への参加（1日） ○小山市小中一貫教育推進基本計画検討委員会第1回会議（15日） ○先進地視察：日本義務教育学会総会への参加（26日）
12月	○小山市小中一貫教育推進基本計画検討委員会第2回会議（16日）

1月	<ul style="list-style-type: none"> ○小山市小中一貫教育推進基本計画の定例教育委員会（13日） ○教育フォーラムおやま2017の開催（14日） ○小山市小中一貫教育推進基本計画の庁内会議決定（16日） ○小山市小中一貫教育推進基本計画の市議会説明（19日）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回栃木県小中一貫教育推進協議会への参加（12日） ○小山市小中一貫教育推進基本計画及び概要版パンフレットの全教職員配布 ○小山市小中一貫教育推進基本計画概要版パンフレットの保護者・関係者等配布
3月	

(3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・小山市小中一貫教育推進基本計画の策定 「これまでの取組」、「小中一貫教育のねらいとグランドデザイン」、「基本方針等」について明らかにすることで、今後の研究の指針とした。 ・各中学校区毎の小中一貫教育基本計画及びカリキュラムの策定 策定のために、中学校区内の全教職員で調査研究を行うことで、教職員の意識の共有化が図られ、指導力の向上が期待される。 ・小山市小中一貫教育推進基本計画概要版啓発リーフレット作成 児童生徒、保護者、教職員、学校関係者に配布・周知することで、保護者や市民の小中一貫教育への理解が深まる。
--

(4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> ・市内全中学校区での小中一貫教育の導入 小中一貫教育のねらいの達成を目指し、五つの基本方針のもと、小山市型小中一貫教育を推進していく。 ・絹中学校区での義務教育学校の開校 各中学校区及び義務教育学校の研究の成果や課題を検証することで、市全体の小中一貫教育の質の向上に結びつけていく。
--

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－２

1. 市町村教育委員会等の名称 : 那須烏山市教育委員会

住所 : 栃木県那須烏山市大金240番地
代表者職・氏名 : 教育長・田代 和義

2. 取組の名称 : 中学校の空き教室を活用した小学校6年生の授業実践を核とした小中一貫教育の創造

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

・取組1年次として各学校に本事業のねらい等の周知を図る。
・本事業のねらいを踏まえた上で、本地区でこれまで実践してきた小中連携一貫教育の見直しを図りつつ、小学6年生の授業実践を核とした小中一貫教育の推進を探る。

(2) 取組Ⅱの実施状況(平成28年度)

6月	○研究1年次の計画作成 ○小中一貫教育への取組の周知 ・小中学校長会、教頭会、教務主任会を通して
7月	○小中一貫教育推進協議会組織の検討 ・日程の調整 ・有識者の候補者の選出
8月	
9月	○小中一貫教育推進協議会開催準備 ・推進協議員、有識者の委嘱
10月	○小中一貫教育全国サミットへの参加(21, 22日) ○第1回推進協議会議の開催(24日) ・本事業の説明 ・各中学校区での小中一貫への取組の確認 ・今後の方向性の確認 ○取組の実施 ・中学生の小学校訪問(南那須中学校区)(31日)
11月	○取組の実施 ・中学校説明会(南那須中学校区)(28日) ○中学校への乗り入れ授業計画の策定(南那須中学校区)
12月	○取組の実施 ・小学校6年生の中学校乗り入れ授業(南那須中学校区、理科)(2日) ・中学校説明会(烏山中学校区)(9日) ・生徒会役員選挙への小学6年生の参加(烏山中学校区)(15日)

1月	○各中学校区における推進会議の実施 ・南那須中学校区(31日)、烏山中学校区(24日) ・今年度活動の成果及び課題の確認、次年度の活動計画の検討
2月	○第2回推進協議会開催準備 ○取組の実施 ・中学1年生による小学6年生への中学校紹介(烏山中学校区)(3日) ・講演会の開催(南那須中学校区)(22日)
3月	○第2回推進協議会の開催(13日) ・今年度の取組の確認 ・次年度の取組計画の確認

(3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・小学6年生の中学校への乗り入れ授業については、一度だけであったが当初モデル校として設定した南那須中学校、荒川小学校間で実施できたことは成果であった。 ・全国サミットでは、施設分離型の取組事例が報告され、参考となった。 ・本市で以前から行われている取組の中には、域内全域で内容を更に膨らませるなど工夫することによって本事業のねらいに迫れるものがあることがわかった(生徒会役員選挙への小学6年生の参加、中学3年生の校外学習時の小学校訪問、など)。また、各中学校区で実施されている推進会議も機能していることがわかった。

(4) 今後の取組予定

<p>1 小学6年生の中学校への乗り入れ事業の実施については、次の点を踏まえつつ、中学校区ごとに創意ある取組を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進協議会と各中学校区の推進会議との連携を密にするなど推進組織を整備するとともに、年間を通して計画的に会議を実施し、事業の推進を図る。 ・取組の範囲を中学校区ごとに全域に広げる。 <p>2 施設分離型ならではの小中一貫教育の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・域内での共通の教育目標等を設定し、9年間の連続した学びを意識した小中学校の共通した指導の推進を図る。 ・共通の取り組みを実施するにあたり必要に応じて教育課程の摺り合わせを行う。
--

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－３

1. 市町村教育委員会等の名称 : 大田原市教育委員会

住所	:	栃木県大田原市湯津上5-1081
代表者職・氏名	:	教育長 植竹福二

2. 取組の名称 : 大田原市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

平成28年度は平成27年度に策定された「大田原市小中一貫教育基本方針」を基に、2モデル地区で地域の実態に合わせ、教職員、保護者、地域のそれぞれの立場で具体的なモデル地区の目標及び取組内容について検討を行い、モデル地区推進計画を立てる。市教育委員会では、モデル地区や検討委員会の意見を反映した市規則の変更や予算化を進めるとともに、市内全地区に情報発信し、全地区での導入の準備を進める。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

4月	・モデル地区への委託事業説明
5月	・モデル地区授業研究会開催(若草中学校区)
6月	・第1回市小中一貫教育検討委員会開催 ・モデル地区5校研究主任会開催
7月	・モデル地区授業研究会開催(金田北中学校区) ・モデル地区5校研究主任会開催
8月	・モデル地区合同教職員全体研修会開催 ・モデル地区作業部会開催
9月	・第1回県推進協議会出席 ・先進地視察研修実施(埼玉県入間市 市委託バス) ・モデル地区授業研究会開催(授業モデルの修正) ・モデル地区作業部会開催(各部会での目標設定・計画作成②)
10月	・モデル地区授業研究会開催(金田北中学校区) ・金田北中学校区作業部会県教育委員会事務局訪問 ・全国小中一貫教育サミット参加(東京都武蔵村山市)
11月	・第2回市小中一貫教育検討委員会開催 ・モデル地区先進地視察研修実施(茨城県つくば市 市委託バス) ・若草中学校区授業研究会県教育委員会事務局訪問

12月	<ul style="list-style-type: none"> ・金田北中学校区授業研究会県教育委員会事務局訪問 ・大田原市小中学校管理規則一部改正（平成29年4月施行）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育に関する学習指導主任研修会開催 ・平成29年度版市小中一貫教育推進計画策定
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・市小中一貫教育活動推進啓発リーフレット作成 ・第1回県推進協議会出席 ・モデル地区保護者・地域説明会の開催
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区保護者・地域説明会の開催

(3) 取組の成果

モデル地区2校がそれぞれの取組を5校校長会、5校研究主任会等で共有して取り組んできたので、平成29年度実施に向け、順調に準備を進めることができた。
 モデル地区以外の学校も先進地視察に参加したり、モデル地区から情報が提供されたりすることで、各中学校区で準備が進められている。
 市推進計画を平成29年度版とすることで、来年度以降の取組の大枠を示すことができた。

(4) 今後の取組予定

平成29年度はモデル地区でその取組を公開発表してもらい、広く地域や他中学校区に広めてもらう機会とする。検討委員会は8中学校区から代表者に参加いただき、広く市全体の取組について詳細に市推進計画に位置付けていく。
 中学校区での学校運営協議会設置について平成30年度設置に向けて準備を進める。

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－４

1. 市町村教育委員会等の名称 : 栃木県那須塩原市教育委員会

住所	: 栃木県那須塩原市あたご町2番3号
代表者職・氏名	: 教育長 大宮司 敏夫

2. 取組の名称 : 那須塩原市小中一貫教育

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

教育委員会の中心施策「人づくり教育」の実現には、全教職員が児童生徒の中学校卒業時の姿をイメージし、自分がどの発達の段階を受けもっているのかを常に意識して指導にあたる必要がある。また、本市の大きな教育課題は不登校児童・生徒の出現率が高いことである。これらの実態から、小中一貫教育の導入により、9年間を見通した教育を推進すると同時に中1ギャップの解消を図り、不登校児童・生徒を減少させたいと考えた。具体的には、補助金を活用して講師を招き、小中一貫教育推進に係る研修会を実施して教職員の指導力を向上させたいと考えた。また、グランドデザインを作成・配布することで、小・中学校教職員の意識統一と相互理解を図りながら、保護者や地域住民に対して小中一貫教育の内容を周知し、理解を得たいと考えた。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

4月	[市教委]小中一貫教育担当者会議を実施し、今年度の小中一貫教育の推進について共通理解を図った。	各地区の担当指導主事が、学校からの要請に応じて会議
5月	[各中学校区]小中一貫教育推進のための組織を編制した。また、本年度の成果指標について話し合った。	
6月	[市教委]市内校長会議にて、那須塩原市小中一貫教育実施計画及び小中一貫教育推進事業研究指定の経緯を説明し、理解と協力を得た。	
7月	[各中学校区]小中一貫教育推進に係る成果指標を策定し、その内容を市教委に報告した。 [市教委]グランドデザイン作成及び研修会実施の手続きについて周知した。	
8月	[市教委]各中学校区の取組内容及び成果指標の一覧表を作成し、全小中学校に情報を提供した。 [西那須野中学校区]小中一貫教育に係る研修会を実施した。	
9月	[市教委]小中一貫教育推進事業第1回推進協議会に参加した。 [高林中学校区]小中一貫教育に係る研修会を実施した。	
10月	[日新中学校区]小中一貫教育に係る研修会を実施した。	

11月	[黒磯・東那須野中学校区]小中一貫教育に係る研修会を実施した。 [県教委]黒磯中学校区の研修会に参加した。	叢や研修会に参加し、指導・助言を行った。
12月	[各中学校区]ランドデザインの原稿を市教委に提出した。 [厚崎・三島中・塩原中学校区]小中一貫教育に係る研修会を実施した。 [県教委]厚崎中学校区の研修会に参加した。	
1月	[市教委]小中一貫教育に係る研修会を実施した。 [市教委]ランドデザイン作成に関する事務手続きを完了した。 [各中学校区]小中一貫教育進捗状況確認表を提出した。	
2月	[市教委]小中一貫教育推進事業第2回推進協議会に参加した。 [市教委]市内校長会議にて、小中一貫教育推進に関する次年度の方針を説明した。	
3月	[各中学校区・市教委]ランドデザイン、リーフレットの配布準備	

(3) 取組の成果

各中学校区で研修会が行われ、「今後の授業づくりの参考になった。」「自分の子育てを振り返る機会となった。」等の感想が教職員や保護者から多数寄せられており、小中一貫教育の推進につながっている。また、ランドデザインの作成が、学校内における目指す児童生徒像の共有や小中学校教職員の相互理解につながったとの声が聞かれた。なお、完成したランドデザインについては、新年度早々に保護者や地域住民に配布し、小中一貫教育への理解と協力を得たいと考えている。

(4) 今後の取組予定

次年度も、中学校区毎及び市教委による小中一貫教育に係る研修会の実施と、ランドデザイン作成・配布を全中学校区で行いたい。その際、今年度中学校区毎に策定した成果指標に基づいて結果を検証し、それらを分析したうえで、次年度の研修会の実施方法・内容を検討したり、ランドデザインの内容を改訂・充実させたい。